

活動報告

団体名	くまもと友救の会
活動名	住民の生活環境改善のための重機二ーズ対応事業
活動期間	2017年10月～2018年3月
活動の成果	<p>公費解体という制度に関して、業者としての側面から施工業者の悪質な工事例を集約し注意喚起を行うことで、悪質な工事を未然に防ぐ役割を担いました。ボランティアとしての側面から、業者が制度で行う工事の限界を住民に理解してもらい、悪質な施工事例の際にはボランティアで業者のやり残した部分を補う働きかけをしました。そうすることで、住民にもボランティアと業者に依頼するべき部分とを明確に説明し、戻れる部分から市場に戻ってもらうことで自立を手伝うことができました。</p> <p>今では、支援団体間で意識を統一し、行政などとも協議しながらボランティアとしての活動の範囲や限界などを決めていきます。こうした取り組みは熊本の官民連携モデルとして参考にされており、業者としての側面とボランティアとしての側面から、両面に対して意見ができる団体であったことが大きいと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震発生から一年半が経過し、寄付金が減少する中に、支援団体も二ーズが目の前にありながら資金的な活動限界が原因で対応ができないという状況も出てきました。そのような状況下で、「ボラサボ九州」のようにフェーズに合わせて助成団体や要旨を変えながら、市民活動をサポートして下さる助成金は被災地にとって非常に有意義で、かつ不可欠のものです。</p> <p>被災者の方々からは直接的に支援を行う私たちに感謝の言葉を頂きますが、私はいつも、私たちのような直接支援を行う団体だけでは活動が成り立たない、多くの縁の下での力持ちである支援者によって、被災地の支援活動は成り立っている旨を説明してきました。</p> <p>一人一人のできることを全力で。これからも私たちは社会の中で「やるべきこと」を、世の中の方が「やりたいこと」を、それをつなぐ自分たちに「できること」を、探求して参りたいと思います。</p> <p>改めて、この度はご支援頂いた皆様には改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。</p> <p>これからも熊本を、そして「くまもと友救の会」をよろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)



